

報告事項ス

県内文化財建造物の国新規登録について

県内文化財建造物の国新規登録について、別紙のとおり報告します。

平成 2 2 年 3 月 2 0 日

鳥取県教育委員会教育長 中永 廣樹

県内文化財建造物の国新規登録について

文 化 財 課

平成22年3月19日(金)に国の文化審議会(会長 西原鈴子)において、下記の文化財を国登録有形文化財に登録する旨の答申が行われました。

記

新規登録が答申された文化財建造物

	名 称	所在の場所	特 徴 等	建設年代
1	たいしやゆ 大社湯 (第三鶴の湯) 浴場及び主屋	倉吉市	重要伝統的建造物群保存地区である倉吉市打吹玉川地区から続く本町通りの西に位置する、倉吉市内で営業する唯一の銭湯。1階を浴室と脱衣場、2階を住宅とする。外観は住宅風で、周囲の景観とよく調和する。浴場は耐火性や湿気を考慮し、基礎はコンクリート、腰壁は煉瓦積となっている。内部はタイル張、天井は板張りで、明治後期の公衆浴場の形態をよく保持している。	明治後期建築 /大正期増築・ 昭和中期改修
2	きやりよかん 木屋旅館	三朝町	三朝温泉街の中心に位置し、木造2階建一部3階建で地階に浴室を設ける。温泉街の発展とともに増改築を行い、複雑な構成となっている。客室毎に異なった意匠を凝らす。	明治期建築 /大正8年・ 昭和29年・ 昭和33年増築
3	なんえんじほんどう 南苑寺本堂	三朝町	山腹に独特な構成の境内を構え、東から隠寮、本堂、庫裏、石段の途中に、山門と並べる。 本堂は山腹に三室を東西に並べる数寄屋造。隠寮は、数寄屋風の建物で、明取窓を丸窓にするなど、趣向を凝らした意匠を持ち、一部懸造とする。庫裏は正面に屋根の妻飾りを見せ、2階には花頭窓を並べて高欄をつけるなど、温泉街からの眺めを意識した特徴的な外観を持つ。山門は下階を漆喰で厚く塗り、アーチ状の通路とする。いわゆる竜宮造で、特異な伽藍景観を形成。	昭和2年
4	なんえんじいんりょう 南苑寺隠 寮			
5	なんえんじくり 南苑寺庫裏			
6	なんえんじさんもん 南苑寺山 門			

【参考1：登録が答申された建造物の写真】



大社湯（第三鶴の湯）浴場および主屋



木屋旅館



南苑寺 庫裏、本堂、隠寮



南苑寺 山門

【参考2：鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財の件数（今回の登録含む）】

	登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
県内	(1 4 7) 1 4 9	(1 6) 1 1 5	(1 8) 2 3 2
うち 倉吉市	(3 0) 3 0	(1) 1 7	(3) 3 0
うち 三朝町	(6) 6	(4) 1 2	(1) 1 0

()内は
建造物の数